



中村忠行 議員

アクティブシニアへの支援は

回答 でき得る限りの支援を行う

アクティブシニアへの雇用支援策は
中村忠行議員 高齢者実態調査を踏まえたアクティブシニアの雇用支援は

が、シルバー人材センター等へ除雪機購入助成を行い、間口除雪への対応を出来ないか。健康福祉課長 新庄最上管内で除雪機購入助成は3自治体。間口除雪に直接支援が5自治体。自治体とシルバー人材センターとが委託契約が1自治体ある。間口除雪のニーズに対し、人材不足であり、家屋間の移動が課題としてある。

高齢者団体活動支援は
中村議員 厚生労働省の「健康日本21」に高齢者の社会参加が謳われている。「老人クラブ」や「さわやかサロン」「見守り隊」の課題として、加入・参加促進があるが、支援策は。

課題と認識しており、各団体と連携し積極的に相談していく。高齢者が慣れ親しんだ地域で生きがいを持って生活できるように、高齢者の生涯教育部局と連携を密にし、充実した高齢者支援を模索したい。

グラウンドゴルフは117名が加盟しており、新規加入もある。支援としては、団体育成と主催大会に助成をしている他、道具の無料貸し出しやグリーンバレー神室のコースの使用を無料とし、町ふれそポ大会でも普及している。

室内子供遊具施設を
中村議員 高齢者には子守りや農作業などの家族の下支えがある。雨天や、冬期間でも子どもが集える施設を設置する考えは。健康福祉課長 町の規模からすると、負担が大きく現実的に厳しい。町長 高齢者支援は、健康長寿を目指す上で重要であり、でき得る限りの支援を行いたい。その他の質問

五十嵐健康福祉課長
シルバー人材センターが果たす役割は大きく、金山町管内では、48名の方が登録されており、町からの支援として21万6千円拠出しており、運営を支援することにより、高齢者雇用支援を行っている。また、産業課の雇用促進担当と連携を密にし、生きがいを持って元気で働ける人の雇用促進に力を入れていく。

中村議員 他町村では除雪機購入助成がある
対策としては、地域内で互いに助け合う体制づくりが急務であり、「支え合いで元気になる町づくり」勉強会を開催し、町民の理解と意識高揚を図っており、地域で互いに支え合う体制が構築されれば、

健康福祉課長 老人クラブへは
「金山町老人クラブ活動事業補助金」と地区交付金として支援しており、地区交付金を9月補正予算で拡充する。各団体の加入促進が

佐藤教学課長 芸文協は220名の会員が活動しており、11月の町芸文協発表会に協力している。課題として、新規団体の加入や構成員の加入が急務であり、各団体の活動告知により、新規加入を促進したい。



寿大学でリフレッシュ

農業生産工程管理 (GAP認証) に対して支援を

回答 認証が必須になるかを含めて検討する



高橋芳夫 議員

高橋芳夫議員 今、稲作農家が米を販売するには、トレーサビリティ(生産履歴記録表)を提出しなければならぬ。この手続きをしないと、稲作農家は米を販売できない状況にある。それ以上に、金山の稲作農家が米を有利に販売するには、GAPの認証が必須になると考える。こうしたことから、金山町としてGAPの認証に対して支援を出して農家の後押しをしてはどうか。

丹産業課長 稲作農家が集荷業者に米を出荷する際、出荷記録の提出が求められている。例えば、JA金山では、出荷記録に生産管理を含めた「水稻栽培管理記録表」の提出を義務付けており、水田状況や育苗管理、施肥、虫や細菌及び雑草の防除剤、収穫等の履歴を記載することになっている。一方、GAPは、「農業生産工程管理」などと訳され、農業生産の環境的、経済的及び社会的な持続に向けた取り組みであり、結果として、安全で高品質の農産物をもたらすものである。県が推奨する山形県版GAPを含め、いくつもの種類があるが、それらに応じて費用が必要となるものの、認証取得が必ずしも価格に反映されるものでないことから、慎重に考えていくべきものと考えている。

高橋議員 2020年の東京オリンピック、パラリンピックが開催されるようになっている。その中の「食」の対応として、GAPが食材の調達基準とされると確信している。米の消費が段々落ちていく現状の中、GAPの認証取得をするということは、金山の米はきれいな米であると証明することになり、農家の利益増大につながるのではないかと。産業課長 東京オリンピックの需要と云うのは、その市場だけを見ればGAP認証が大々前提になると思うが、取引先がその先を見越して、最終的にどういった所で金山町の米を必要とし、金山の米を出そうとしているか。その際に、情報履歴が記載されている現在のトレーサビリティ情報で良し性でいけるかどうかを



適正管理で美味しい米に